

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 札幌市 】

1 実践テーマ	【 I、V 】
2 実施対象者	札幌市立幌西小学校 第4学年 5学級 165名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	札幌オリンピックミュージアムを訪問し、展示品の見学や冬季スポーツ体験コーナーの利用、大倉山ジャンプ競技場の見学等を通して、オリンピック・パラリンピックの知識や札幌オリンピックに関わる歴史、種目などについて学ぶとともに、「雪」に対する親しみを深める。
5 取組内容	[事前学習] 1時間 ・総合的な学習の時間学習と関連させて、札幌オリンピックについて知る。 [当日] 2時間 ・札幌オリンピックミュージアムの見学、体験学習 [事後学習] 1時間 ・見学、体験を通して学んだことをまとめる活動と、『雪』の学習へとつなげる活動。 [発展学習] 20時間 ・総合的な学習の時間『スノーマイスター』において、「雪国札幌のよさ」を見つけ、雪の楽しさを紹介する活動へとつなげる。 <児童の感想から> ・平野さんのお話を聞いて、「私も夢をあきらめないでがんばろう。」と思いました。 ・本物のメダルや服を見ることができて、勉強になりました。平野さんのお話を聞いて、夢ができました。 ・オリンピックを中心に、知らないことばかりで、ワクワクでたまりませんでした。特にリフトはすごく高いところでびっくりしました。あんなところから飛ぶなんてすごいなあ。

- ・リフトに乗って、スキージャンプ台の高さを見てびっくりしました。全体の景色が見えてとてもきれいでした。
- ・昔のスケート靴を見てみたら、形は今と少し似ているけど、色が違うことに気がきました。



6 主な成果

○成果

- ・札幌オリンピックミュージアムの見学では、ソチ五輪女子アイスホッケー日本代表平野由佳さんがゲストとして来てくださった。幼少期からアイスホッケーに携わってきたこと、札幌から苫小牧まで毎日練習で通っていたこと、そして支えてくれた親への感謝など、小学生にも分かりやすい言葉で伝えていただいたことで、目標をもって取り組むことの大切さを、子どもたちは実感することができた。
- ・場内にある札幌オリンピックに関する展示物を、学芸員に紹介していただいたことで、自分たちが住む札幌市の歴史を改めて知る良い機会となり、さらに札幌市を身近に感じるすることができた。
- ・大倉山ジャンプ競技場のリフトに乗せていただき、その高さを肌で感じるすることができた。スキージャンプ競技について、関心がない児童が多くいたが、体験を通して興味をもつことができた。

7実践において工夫した点(事業の特色)

「札幌オリンピックミュージアム」を活用した学習を、本校の教育課程に位置付けている活動に取り入れてたこと。

8 主な課題等	<p>5学級での見学となったため、ミュージアム側の配慮で二班に分かれ、入れ替えての見学をさせていただいた。様々な場面で丁寧な対応をいただき、大変感謝している。その中で、シミュレーションブース（ジャンプのテイクオフ、アイスホッケーゴールキーパー等）を、実際に体験できた児童は、時間の関係でごくわずかとなってしまったのが残念であった。</p>
9 来年度以降の実施予定	<p>バス移動やオリンピック招聘に係る経費を、今回のように教育委員会で支出してもらえれば、持続可能な学習として、本校の教育課程に位置付けていきたい。</p>